

世田谷区立玉堤小学校
校長 伊藤 修久 様

翠と溪の学び舎・世田谷区立玉堤小学校
学校関係者評価委員会

令和7年度 世田谷区立玉堤小学校

学校関係者評価報告書

1. 調査の実施経過

- (1) 第1回学校関係者評価委員会 《令和7年10月27日》
 - ① 今年度学校関係者評価委員および事務局教員の紹介
 - ② 委員長の選出
 - ③ 学校経営方針や重点目標等の説明
 - ④ 評価アンケート区共通項目の確認と本校独自項目の確認
 - ⑤ 学校関係者評価関係のスケジュール調整
 - ⑥ 年間学校行事予定の確認
- (2) ウェブアンケート調査の実施と回収
 - ① 実施から回収期間：令和7年11月 7日～11月20日
 - ② 「世田谷区共通項目+学校独自項目」アンケートの対象者
 - 5・6年児童173名、保護者468名、地域協力者24名を回収
 - 回収率 保護者 88.6% (昨年度 79.7%) 地域 47.1% (昨年度 26.7%)
- (3) 集計データ（児童、保護者、地域）
 - アンケートの実施：11月 7日～ 20日
 - 集計結果通知：12月22日
- (4) 第2回学校関係者評価委員会 《令和8年1月20日》
 - 児童（5・6年）、保護者（1～6年）、地域協力者の集計結果分析と課題の検討
- (5) 第3回学校関係者評価委員会 《令和8年2月2日》
 - 児童・保護者および地域協力者の総合的な分析と課題の検討
 - 学校関係者評価報告書内容の検討
- (6) 学校運営委員会にて「学校関係者評価最終報告書」公表《令和8年2月14日》

2. 学校評価の今年度の視点

学校評価の分析を進めるにあたり、調査結果から見えた本校の成果と課題について、関連する項目を観点別に整理して、総合的に評価した。それは、調査によって浮き彫りにされた問題が個々の設問だけでは評価できず、複数の要因が関連しているからである。

結果の分析・評価については、A（とても思う）、B（思う）、C（あまり思わない）、D（思わない）の4段階とE（わからない）項目を加えて行った。さらに分析に当たっては、A（とても思う）とB（思う）の合計の割合《70～80%》を達成基準とした。参考までに、() 内に昨年度の割合を添えた。

3. アンケート集計結果の分析と提言

1 令和7年度・学校の重点目標について

重点目標1：ESDによる豊かな伝え合いを通して、深く考える子どもの育成（知）

〔数値目標〕

- 自分の思ったことや考えたことを文章や言葉で表現し、タブレット端末等を活用し、伝え合う場を多様に設定することにより「自分の思いや考えをすすんで表現する」子どもを90%以上にする。
- 「生活・総合的な学習の時間を通してESD、SDGsにすすんで取り組む」子どもを85%以上にする。
- 豊かな伝え合いを作り出す工夫された授業を行い、「学ぶことが楽しい」子どもを85%以上にする。

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆ 「思ったことや考えたことを表現することができる」
5・6年生 80%（89%） 保護者 70%（65%）
- ◆ 「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」
5・6年生 94%（92%） 保護者 80%（76%）
- ◆ 「総合的な学習の時間」を中心に、ESD・SDGsに関する学習に興味をもって取り組んでいる。
5・6年生 79%（85%） 保護者 74%（65%）
- ◆ 「学ぶことが楽しい」
5・6年生 81%（82%）
- ◆ 「話し合ったり発表し合ったりする機会がある」
5・6年生 95%（99%） 保護者 88%（86%）
- ◆ 「課題について、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」
5・6年生 94%（95%） 保護者 79%（80%）

【提言】 「自分の思ったことや考えたことをすすんで表現する子ども」が80%、「ESD・SDGsに関する学習に興味をもっている子ども」が79%、「学ぶことが楽しい子ども」が81%であった。この数値は、目標には達していないが、評価委員会の示す達成基準には、十分に到達している。

これは、「映像やタブレットを活用した分かりやすい授業」「地域の自然環境や文化を活かす活動を取り入れた授業」「課題に向かって自分で考えたり友だちと考えたりする授業」「話し合いや発表を工夫した授業」等を継続した結果である。このことから、重点目標1は、ほぼ達成できていると言ってよい。「深く考える子ども」を支えているのは、豊かな伝え合いを作り出す工夫された授業である。これからも、子どもたちに自分の思いや考えが表現できる授業づくりを期待する。

重点目標2：自己有用感を高め、思いやりのある子どもの育成（徳）

〔数値目標〕

- 「自分からあいさつの声をかけることができる」子どもを90%以上にする。
- 「相手の気持ちを考えて行動している」子どもを90%以上にする。
- 「学校生活が楽しい」子どもを90%以上にする。
- 「先生に相談できる」子どもを80%以上にする。

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆ 「自分からあいさつの声をかけることができる」
5・6年生 85%（94%）

- ◆「本校の子どもたちは、すすんであいさつをしている」「きちんとあいさつができる」
保護者 73% (72%) 地域 92% (80%)
- ◆「相手の気持ちを考えて行動している」
5・6年生 90% (92%)
- ◆「思いやりの気持ちをもって行動している」
保護者 78% (79%)
- ◆「学校生活は、楽しい」 「学校生活は、子どもにとって楽しい」
5・6年生 88% (85%) 保護者 91% (92%)
- ◆「先生に相談できる」 「子どものことを相談しやすい」
5・6年生 77% (75%) 保護者 78% (76%)
- ◆「人とかかわりを通して、よりよい人間関係を築こうとしている」
保護者 72% (76%)
- ◆「心を込めて、ありがとうと言っている」
5・6年生 97% (95%) 保護者 77% (76%)
- ◆「学校生活の中で、進んで上級生としての役割を果たしている」
5・6年生 83% (76%)

【提言】 「自分からあいさつの声をかけることができる子ども」が85%、「相手の気持ちを考えて行動している子ども」が90%、「学校生活が楽しい子ども」が88%、「先生に相談できる子ども」が77%であり、数値目標をほぼ達成できている。また、保護者より「思いやりの気持ちをもって行動している」が78%、「進んで上級生としての役割を果たしている子ども」が83%、「心を込めて、ありがとうと言っている子ども」が97%と高い数値を示すことから、自己有用感の高まりを感じている。このことから、重点目標2は、達成できている。これからも、学校・家庭・地域の三者が同じ方向を向き、子どもたちに「自他を大切に作る心」を育てていただきたい。

重点目標3：健康な体づくりや体力の向上にすすんで取り組む子どもの育成（体）

〔数値目標〕

○「健康な生活をする心を心がけている」（食事や睡眠・早寝早起き）「めあてをもって体育や運動に取り組んでいる」（すすんで運動・体育や外遊び）と回答する子どもを85%以上にする。

【児童・保護者アンケートより】

- ◆「子どもたちは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」
保護者 76% (79%)
- ◆「すすんで運動するよう心がけている」 「運動や遊びで体を動かしている（保護者）」
5・6年生 73% (72%) 保護者 88% (84%)
- ◆「食事や睡眠に気を付けている（5・6年）」
5・6年生 73% (66%)
- ◆「感染症予防の意識をもって生活している」
5・6年生 73% (74%)

【提言】 子どもは「すすんで運動する」や「食事・睡眠」「感染予防」などへの意識が73%の数値であり、数値目標85%には及ばないが、評価委員会の到達基準は満たしている。保護者は「子どもは、体力向上や健康な生活に取り組んでいる」が76%、「運動や遊びで体を動かしている」が88%と子ども

の活動意欲を認めている。学校では、冬季に行われる持久走期間など体力づくりへの取り組みを行っていることもあり、昨年より意識の高まりが感じられる。重点目標3は、やや達成と言える。以上のことから、子どもたちの健康・体力づくり意識をさらに高めるような働きかけを保健や体育の授業だけでなく、家庭や地域にも呼びかけていただきたい。

2 四つの観点について

(1) 学習指導について

【児童・保護者アンケートより】

◆「学ぶことが楽しい」

5・6年生 81% (82%)

◆「課題について、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」

5・6年生 94% (95%) 保護者 79% (80%)

◆「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」

5・6年生 94% (92%) 保護者 80% (76%)

◆「話し合ったり発表し合ったりする機会がある」

5・6年生 95% (99%) 保護者 88% (86%)

◆「先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」

5・6年生 84% (85%) 保護者 72% (66%)

◆「先生は、ていねいに指導してくれる」

5・6年生 92% (92%) 保護者 83% (83%)

◆「生活科・総合的な学習の時間の授業を通して、ESD・SDGsを推進している」

5・6年生 79% (85%) 保護者 74% (65%)

◆「私は、家で宿題や自主学習をしている」 「子どもは、家で自主的に学習している」

5・6年生 80% (62%) 保護者 55% (57%)

◆「私は、塾で学習している」

5・6年生 63% (72%)

【提言】 先生方の「自分で考えたり、友達と考えたりする授業」「映像やタブレットを使った分かりやすい授業」「話し合ったり、発表したりする授業」など、工夫された学習が展開されるために、「学ぶことが楽しい」と回答する子どもが増えている。さらに「ていねいに指導してくれる」との回答が高い数値を示し、子どもたちの興味・関心に応じた学習や映像やタブレット端末を活用した教材づくりなど、教員の個々に応じたていねいな指導・支援が学習意欲を高め、学習理解に繋がっていると思われる。

(2) 学校生活について

【児童・保護者・地域アンケートより】

◆「先生は、子どもの意欲を大切にしている。」

5・6年生 88% (86%) 保護者 86% (86%)

◆「本校は、ルールについて子どもに考えさせる指導をしている」

保護者 74% (68%)

◆「注意されたことは理解できる」

5・6年生 93% (93%) 保護者 83% (77%)

- ◆「子どもは、きまりを守って行動している」
5・6年生 83% (89%) 地域 88% (100%)
- ◆「学校生活が楽しい」
5・6年生 88% (85%) 保護者 91% (92%)
- ◆「子どもたちは、行事が楽しい」 「学校行事が充実している (地域)」
5・6年生 95% (94%) 保護者 96% (97%) 地域 100% (93%)
- ◆「行事は、達成感がある」
5・6年生 86% (86%) 保護者 94% (96%)
- ◆「学校行事やPTA行事にすすんで協力する」
保護者 72% (75%)
- ◆「学校生活の中で、進んで上級生としての役割を果たしている」
5・6年生 83% (76%)
- ◆「子どもたちは、人との関わりを通して、よりよい人間関係を築こうとしている」
保護者 72% (76%)
- ◆「学校は、地域と協力して安心・安全な学校づくりを進めている」「避難訓練・災害時対応等」
保護者 86% (93%) 地域 96% (93%)
- ◆「本校は、地域・保護者・学校協力者等とのつながりを大切にして共に地域の子を育てている」
保護者 75% (75%) 地域 88% (100%)
- ◆「先生に相談できる」「子どものことを相談しやすい (保護者)」
5・6年生 77% (75%) 保護者 78% (76%)
- ◆「遊んだり話したりする友達がいる」
5・6年生 97% (97%)

【提言】 学校は、生活面でも子どもの意欲を大切に捉えた考えさせる指導を推進している。そのために、「先生に注意されたことが理解できる子ども」が93%、「学校生活が楽しい子ども」が88%、「行事が楽しい子ども」が95%、「行事は、達成感がある子ども」が86%、「進んで上級生としての役割を果たしている子ども」が83%と、高い数値を示している。このことは、保護者・地域も同様に子どもたちを認めている。また、安心・安全な学校づくりのために学校との連携の高まりを感じる。先生と子どもの信頼関係の深まりにより、学校・保護者・地域との距離も近くなってきたように思われる。「先生に相談できる子ども・保護者」が77～78%、教師と子ども・保護者との心の繋がりをを感じる。これからも、子ども一人一人をよく理解し、認め、褒め、伸ばす取り組みの継続を学校・保護者・地域に託す。

(3) 教育活動全般について

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆「本校の教育活動に満足している」
保護者 78% (79%)
- ◆「本校の重点目標を伝えている」
保護者 79% (75%) 地域 83% (87%)
- ◆「今年度の学校重点目標を理解している」
保護者 55% (51%)

- ◆「校長をはじめ教職員は協力して、教育活動に取り組んでいる」
保護者 83% (83%)
- ◆「地域の人や施設を教育活動に活かしている」
保護者 76% (70%) 地域 88% (100%)
- ◆「本校は、学び舎による幼・小・中の連携や交流活動が行われている」
5・6年生 51% (41%) 保護者 58% (50%)
- ◆「教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している」
保護者 63% (62%)
- ◆「目標をもち、その実現に向けて努力している」
5・6年生 78% (82%)
- ◆「子どもの生き方や将来のことについて考える授業がある」
5・6年生 68% (77%) 保護者 55% (49%)

【提言】 保護者は「教育活動全般について」78%と満足している。「地域の人や施設を教育活動に活かしている」保護者76%、地域88%で地域との繋がりも良好である。学校教職員の協力体制も理解されている。キャリア教育についても「目標をもち、その実現に向けて努力している」「自分の生き方や将来のことについて考える授業がある」が68～78%の数値を示し、子どもへの理解が少しずつ進んでいる。

(4) 情報提供について

【保護者・地域アンケートより】

- ◆「学校は、学校だより・学年だよりなどで情報を提供している」
保護者 89% (89%) 地域 92% (100%)
- ◆「ホームページやメールなどでも情報を提供している」
保護者 90% (88%) 地域 92% (87%)
- ◆「学校公開に進んで参加している」
保護者 90% (91%)
- ◆「学校公開や保護者会、公開講座などで子どもの様子が分かる」
保護者 93% (95%) 地域 92% (93%)
- ◆「学び舎（中学校等）の情報が提供されている」
5・6年生 72% (73%) 保護者 49% (45%) 地域 71% (60%)
- ◆「学校重点目標を伝えている・理解している」「重点目標が明確である（地域）」
保護者 79%・55% (75%・51%) 地域 83% (87%)

【提言】 学校は、インターネットによる情報提供の他、定期的に学校公開や保護者会、公開講座などを開いてきた。その中でも、保護者の参加率が高く、90%を常に超えている。学校教育への関心の高さと捉える。「学び舎について」は、今年度は子どもたちが、ある程度の情報を得るようになったので安心している。学校重点目標の伝わり方は、80%前後と伸びてきた。学校情報が、メール配信を基準とするのが定着して、特に問題はないと思う。また、ホームページの更新も適宜行われているので、これからも続けてほしい。

4. おわりに

2026年早々から、地球上で「持続不可能な動き」と思われることが起きている。グローバル化が進み共生社会を目指す21世紀に、ここ数年起きている国際秩序を崩壊するような危機に無関心ではいられない。このような世界状況だからこそ、わが国が正しい秩序づくりに向けて国際的に通用できる人材育成を小学校教育の段階からESD「民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む教育」を行うことが必要かと思われる。

玉堤小学校では、数年前よりESD（持続可能な開発のための教育）を試行し、SDGsに向かって行動できる子どもの育成を目指している。

令和7年度世田谷区立玉堤小学校 学校経営方針

「子どもたちの笑顔があふれる学校」～持続可能な社会の創り手を育てる～

目指す学校像として、(1) 児童にとって、自己の成長が**実感**できる学校

(2) 保護者・地域の方にとって、安全・安心で**信頼**できる学校

(3) 教職員にとって、やりがいをもって**協働**できる学校

今年度の学校関係者評価は、重点目標の3点・四つの観点に加え、目指す学校像の3点をも評価したことになり、いずれも高い評価を得ている。

玉堤小学校の高い評価は、学校と保護者・地域との信頼関係の上に成り立っているように思える。今年度も、学校生活が順調に進み、学校行事を子どもたちが盛り上げた。その背後には、教員は勿論、保護者や地域の方の何気ない支援を忘れてはならない。これは、子どものために、学校・保護者・地域が常に同じ方向を向き、連携をとって行動してきた成果でもある。

アンケート調査がウェブベース主体になり回収率を心配したが、今年度さらに10%向上を示した。学校とPTAの保護者への呼びかけに感謝申し上げる。

最後に、伊藤修久校長の目指す学校づくりにある、教職員を大切にすることを紹介する。

『健康第一！ ➡ “子どもたちを笑顔にするには、先生方が元気でなくてはいけない。”』

以上

翠と溪の学び舎・世田谷区立玉堤小学校
令和7年度学校関係者評価委員会

委員長	古澤 昇
委員	奥村 愉華
委員	上原 高広
委員	関口 勝夫
委員	松尾 晶子
委員	古川あおい